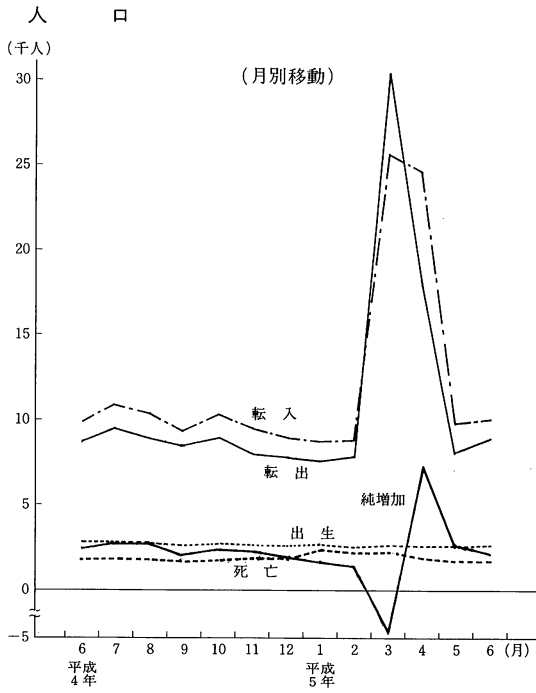
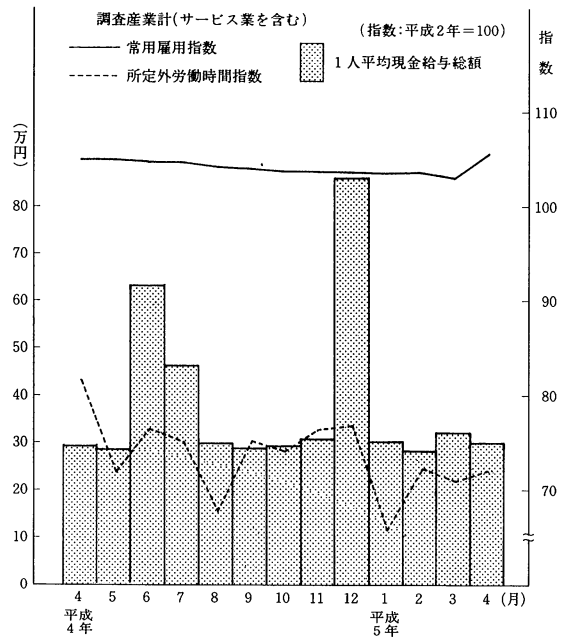


● 今月の主な動き

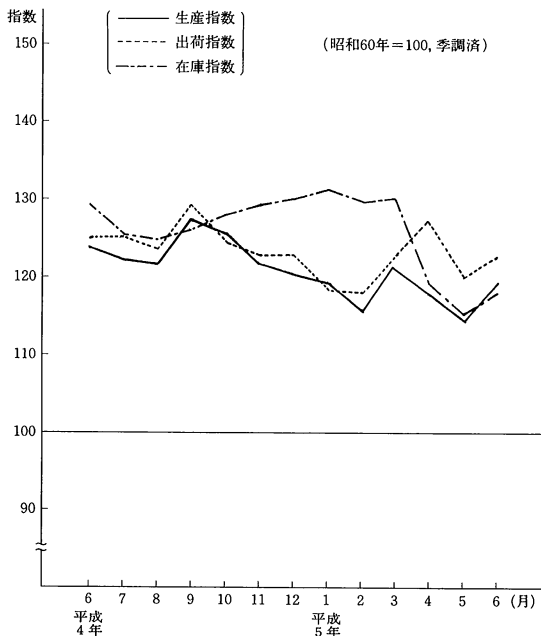
今月の主な動き



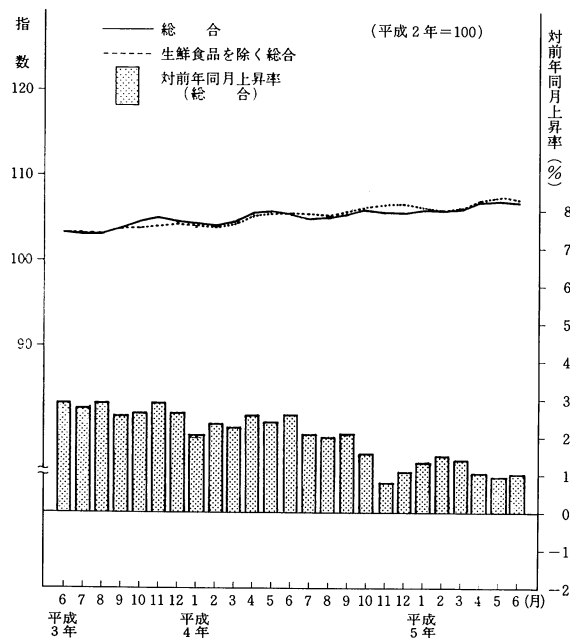
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(7月1日)

本県の人口は、6月中に1,933人増加し、7月1日現在で2,920,054人(男1,459,493人,女1,460,561人)となった。

内訳は、自然動態で955人(出生2,449人,死亡1,494人)増加し、社会動態で978人(転入9,844人,転出8,866人)増加した。前年同月と比べると22,346人(0.77%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が15市46町村,減少が5市20町村,増減なしが1村である。

世帯数についても6月中に1,333世帯増加し891,127世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(4月)

1. 平均賃金の推移

4月の現金給与総額は、調査産業計で302,704円,対前年同月比4.3%増,このうち,きまって支給する給与は296,944円,対前年同月比4.2%増であった。また,このうち,所定内給与は269,863円,対前年同月比4.8%増であり,超過労働給与は27,081円,対前年同月比3.3%減であった。

なお,物価上昇分を差し引いた実質賃金は,対前年同月比4.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお,事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

4月の総実労働時間は,調査産業計で171.2時間,対前年同月比1.3%減であった。このうち,所定内労働時間は157.2時間,対前年同月比0.4%減,所定外労働時間は,14.0時間,対前年同月比11.3%減であった。

3. 雇用の動き

4月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比0.3%増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(6月分)

本県における平成5年6月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は,季節調整済指数で,生産が119.0,出荷が122.7,在庫が117.8で,前月比は,生産が3.7%の上昇,出荷が2.0%の上昇,在庫が1.5%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は,生産が△4.0%の低下,出荷が△2.0%の低下,在庫が△9.4%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では,石油・石炭製品工業,食料品・たばこ工業,鉄鋼業等が上昇し,化学工業,鉱業,電気機械工業が低下した。出荷では,石油・石炭製品工業,

鉱業,食料品・たばこ工業等が上昇し,プラスチック製品工業,繊維工業,精密機械工業等が低下した。在庫では,石油・石炭製品工業,鉄鋼業,窯業・土石製品工業等が上昇し,繊維工業,一般機械工業,金属製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では,その他用生産財,建設財等が上昇し,耐久消費財が低下した。出荷では,その他用生産財,非耐久消費財等が上昇し,耐久消費財,資本財が低下した。在庫では,その他用生産財,建設財等が上昇し,資本財,非耐久消費財が低下した。

■消費者物価指数(6月)

平成5年6月の茨城県消費者物価指数(県平均)は,総合で106.5(平成2年=100)となり,前月比0.2%の下落,前年同月比1.0%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……シャツ・下着0.9%,調理食品0.8%

今月の下がった主な項目……果物10.6%,魚介類3.4%,野菜・海草2.5%,乳卵類2.3%,肉類1.3%,教養娯楽耐久財1.0%

生鮮食品を除く総合は107.3となり,前月比は0.1%の上

昇,前年同月比は1.6%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	106.5	△0.2	1.0	保健医療	102.8	0.0	0.4
食 料	104.4	△1.3	△1.5	交通通信	100.5	0.0	0.6
住 居	113.2	0.2	3.4	教 育	110.1	0.0	4.1
光熱・水道	103.2	0.0	0.3	教養娯楽	109.2	0.4	2.2
家具・家事用品	102.0	0.4	0.3	諸 雑 費	104.0	0.2	0.8
被服及び履物	112.6	0.5	3.6	生鮮食品を除く総合	107.3	0.1	1.6